

令和 7 年度第 2 回三重県精神保健福祉審議会
ギャンブル等依存症対策推進部会 議事概要

日時：令和 7 年 10 月 28 日（火）18 時～19 時 45 分

開催方法：W e b と現地によるハイブリット開催

出席者：会長 鬼塚俊明 他委員 11 名

【議事概要】

(1) 三重県ギャンブル等依存症対策推進計画（第 2 期）の中間案について

＜事務局の説明＞

- ・資料に基づき説明を行った。

＜委員の主な意見＞

- ・受診等につながる患者が少ないように感じている。周知がなされていないことが課題であり、予算を付けて公告や SNS での啓発に取り組んでももらいたい。
- ・オンラインで行われるギャンブルについて、利用上限額の設定など全国的に検討を重ねていきたい。
- ・予防教育が重要で、オンラインカジノの問題は低年齢化が進んでおり、ネットリテラシーやギャンブル等依存症についての早期の教育が重要である。
- ・犯罪と関連する相談もあり、傾聴だけでは対応が難しく、スピーディーに解決するために具体的な対応が必要である。
- ・医療のレベルを超えるような相談のケースもあり、司法書士や弁護士の相談窓口の啓発を検討してほしい。

(2) その他

＜委員の主な意見＞

- ・三重県が全国に先駆けて依存症対策をリードするような取組を示せば、他県も追随し、ギャンブル等依存症を取り巻く世の中の流れが変わっていくと思う。